

MMIX PROJECT 2025  
IZUMIWAKU  
PROJECT から  
MMIX PROJECT へ  
会期中企画



2025年  
2月24日(月)祝  
17:00~

ギャラリーツアー  
「アート・プロジェクトの30年」

ガイド：開発好明、村上タカシ、参加アーティスト  
夏休みの学校を丸ごと美術館のように変えた IZUMIWAKU project 1994・1996 から 30 年。この間、「アート・プロジェクト」は一般化し、日本のアートシーンを語る上で欠かせないものとなっています。一方で、まちの再生や震災復興、インクルーシブな社会の創造など、アート・プロジェクトが取り組むテーマも多様化と深化を遂げています。本ツアーでは、ベテランから新人まで、本展出展アーティストによる問題意識や実践を通してアート・プロジェクトのこれまでとこれからを来場者とともに考えていきます。



ギャラリーツアー  
LIVEコード

2025年  
3月2日(日)  
14:00~

アーティストトーク  
「MMIX<NAAARU アートレジデンス>鳴子 2025」

パネラー：酒匂はな、すがさわゆづき、のえのん  
司 会：門脇篤、村上タカシ  
2025年1月、宮城県北部の温泉地として知られる鳴子温泉で MMIX が運営するアートなゲストハウス「NAAARU」で、アーティスト・イン・レジデンスが開催されました。参加したのは美術家開発好明と3人の次世代アーティスト。



NAAARUについて  
詳しくはこちら



2025年1月に行われたレジデンスの様子

2006~2009年、鳴子温泉郷を舞台にアート・プロジェクトを展開した門脇篤と、2023年から鳴子温泉で「NAAARU」を運営するMMIX代表村上タカシを司会者に、首都圏に暮らす人が経験した地方でのレジデンスは、いったい何をもたらし、そこから何をめざそうとするのかをテーマにアーティストトークを行います。



2025年1月に行われたレジデンスの様子



2006年に行われた「毛糸の橋」設置風景

MMIX PROJECT 2025  
IZUMIWAKU  
PROJECT から  
MMIX PROJECT へ

ギャラリーツアー  
2月24日(月)祝 17:00~  
アーティストトーク  
3月2日(日) 14:00~

開発好明  
酒匂はな  
すがさわゆづき  
のえのん  
門脇篤  
パルコキノシタ  
村上タカシ



2025年 2月24日(月)祝 ~ 3月2日(日)  
11:00 ~ 19:00 (初日 17:00~、最終日 17:00 まで)

こくみん共済coop ホール/  
スペース・ゼロ  
ギャラリー・展示室  
東京都渋谷区代々木 2-12-10-B1  
入場無料・会期中無休

■主催：一般社団法人 MMIX Lab (媒体融合 Lab)  
■共催：スペース・ゼロ  
■問合せ：MMIX Lab (info@mmix.org)



「もしも」に備え「もしも」を防ぎ  
「もしも」に向き合う。

公式キャラクター  
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ  
こくみん共済<全労済>

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP



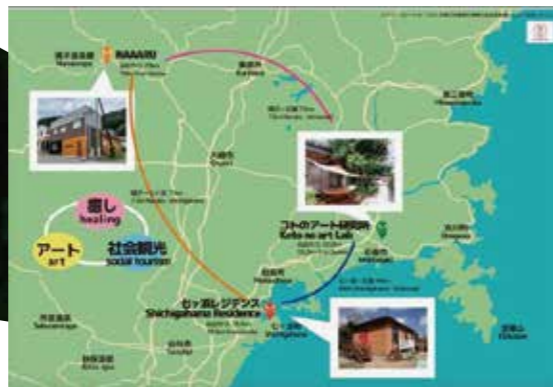
# MMIX PROJECT 2025 IZUMIWAKU PROJECT から MMIX PROJECT へ

夏休みの学校を丸ごと美術館のように変えた IZUMIWAKU project 1994・1996から30年。その後、持続可能なアートプロジェクトの母体としてMMIX Lab（媒体融合Lab）を設立。まちの再生や震災とアート、インクルーシブなプロジェクトをはじめ、最新のソーシャルツーリズムとしての鳴子温泉でのアートレジデンスのプロジェクトなども紹介します。



## 村上タカシ

美術家、MMIX Lab 代表。  
熊本県八代市生まれ。2009 年各種メディアを融合させ、アートと地域を結び創造的芸術活動を行う団体「MMIX Lab」を仙台で発足。震災以降、津波でねじ曲がった公共物等を残し震災を後世に伝える「3.11 メモリアルプロジェクト」他の活動を展開。  
最近では社会観光（ソーシャルツーリズム）の拠点として「コトのアート研究所」（石巻）やアートと癒しのゲストハウス「NAAARU」（鳴子温泉）などを展開中。



MMIX による宮城県内3箇所の社会観光拠点とネットワーク



IZUMIWAKU project 1994 「学校美術館構想」展  
(杉並区立和泉中学校 1994/8/20-9/5)



「パレスチナ・レポート」から

## 門脇篤

2021 年から2年間、仙台市民文化事業団の助成を受けて行ったアート・プロジェクト「Strangers in Sendai」「Strangers in my town」は、「いかにひとは社会の中でストレンジャーたりうるか」という課題意識のもと、複数の参加者が互いに影響を及ぼしながらそれぞれの作品を制作するというものでした。本展では成果物として 2024 年 2 月、鳴子温泉 NAAARU に一週間滞在して完成させた「パレスチナ・レポート」をはじめとする映像作品の上映とともに、このプロジェクトを支え、時に変容させた助成元への申請書や報告書を展示します。



「南海トラフで芸術は死にますか？」フライヤー

## パルコキノシタ

1965 年徳島県生まれ。日本大学芸術学部卒業。小中高等学校の教師を経て現代美術家・漫画家として活動。国際展でパフォーマンスやワークショップを展開。主に東北と四国で活動しており、石巻で復興支援活動と並行して Reborn-Art Festival の参加や日和坂アート研究舎の運営をしている。近年故郷の四国を中心に「芸術の四国遍路展」「芸術ハカセは見た！」展を企画し、芸術の力で四国をつなぎ南海トラフに備えようとする活動をしている。

# MMIX<NAAARU アートレジデンス> 鳴子 2025



ゲストハウス「NAAARU」外観とQRコード



## 開発好明

観客参加型の美術作品を中心に、  
2002 年に PS1 MOMA 「Dia del Mar/By the Sea」、  
2004 年にヴェネチア・ビエンナーレ第 9 回国際建築展日本館、  
2016 年に市原湖畔美術館にて個展「中2病」開催。  
2024 年東京都現代美術館にて個展、「開発好明 ART IS LIVE 一ひとり民主主義へようこそ」を開催。  
また 20 年間毎年開催された 3 月 9 日「サンキューアートの日」の企画者としても知られる。



## すがさわゆづき

環境・社会問題に対する表現方法をテーマに多摩美術大学大学院で研究を行いました。人間の心理から環境問題を考える視点を取り入れ、フィールドワークや制作を通じてポイ捨て問題に対するゴミの「見える化」を表現しました。鳴子での滞在ではその土地ならではの自然に触れ、自然と人間・自然を通して見た人間をテーマに新たな「見える化」を模索した実験作品を発表します。今回の作品では、一週間の滞りで感じた雪に対する慣れや感覚の違いを追体験するようなインスタレーション作品を制作しました。



## 酒匂はな (さこうはな)

主に、作品と人・空間・場所同士の関わり、人体の内側と外側の関係性など、何かと何かの間で起こるコミュニケーションについて探究し、制作しています。媒体やモチーフに、布や糸インタビュー（人の考えの記録）、人体の何か（血液や内臓など）など生物学的要素、社会問題を用いて、インスタレーション、彫刻、パフォーマンス、映像作品などを作っています。幼少より人体構造に興味があったためか、よく作品のどこかしらに人体に関連する何かを含めます。



## のえのん

石鹸は彫刻的である。人間が石鹸を使用するというのは、削る行為そのものだ。同時に、石鹸の機能として人間の汚れを取り去る、すなわち石鹸が人間の身体を彫刻するようでもある。この相互作用は、人間が石鹸を彫刻し、石鹸が人間を彫刻するという、互いに作用し合うのだ。今回の制作では、宮城県鳴子温泉駅近郊の NAAARU に 6 日間滞在し、このテーマを掘り下げる。100 円均一ショップで購入した石鹸を素材とするが、その原産国はマンマーやインドネシアといった海外である。これらの石鹸をみやぎの地で再加工し、新たな形態になることで、「Made in MIYAGI」という新しい作品に変換する試みだ。